様式３(2020.08改)

作成日　令和3年3月11日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372101465
事業所名	グループホーム楽楽苑

【重点項目への取組状況】

	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
重点項目①	コロナ禍によって、地域との交流がストップしている。 これまでは地域に呼び掛けていたホームイベントも、利用者と職員だけでの開催であり、ボランティアの来訪も中断している。 気分転換に散歩に出かけ、行き交う地域の人たちと挨拶を交わす程度の関わりとなっている。	○
	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
重点項目②	新型コロナウイルス感染症の第3波が到来する前の7月に運営推進会議を通常開催できたが、その他の5回はすべて書面開催となっている。 ホームの状況を記載した運営推進会議議事録を作成し、会議メンバーに送付している。	○
	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
重点項目③	本来であれば、運営推進会議に毎回地域包括支援センターの職員の出席があるが、今回は7月開催時のみである。 従来、市の調整によって、毎回市内2ヶ所の地域包括支援センターの、どちらかの担当者が参加している。 市のグループホーム小部会からは、会議中止の連絡が入る。	○
	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
重点項目④	昨年の秋以降、家族の面会を原則中止している。 電話連絡を受け付けており、その際にホームの取組みや利用者の様子を伝え、家族の意見や要望を聞き取っている。 利用者の写真を載せたA3版のホーム便り「のんびり」が、毎月家族のもとへ届けられている。	○
	その他軽減措置要件	評価
重点項目⑤	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

新型コロナウイルス感染症の第3波が到来する前の7月に運営推進会議を通常開催できたが、その他の5回はすべて書面開催となっている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										